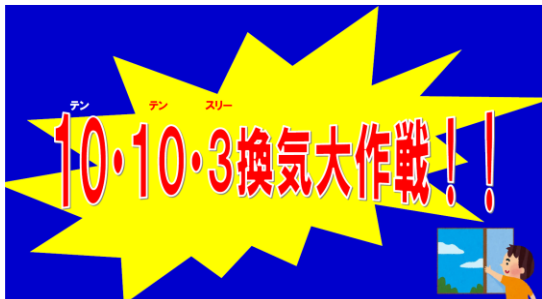




ともに チャレンジ!
 ～ 美しい「あ・や・が・わ」の創造 ～
 あらたな文化 やすらぐ校風 がんばる心 わの精神

綾川中学校
 学校便り No.35
 2023年2月13日

「10・10・3 (テン・テン・スリー) 換気大作戦！」
 ～ 換気バッチリで感染症を乗り越える ～

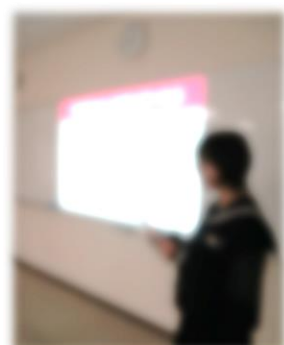


いよいよ明日は「学習の診断」です。新型コロナウイルス及びインフルエンザ等の感染症の拡大が懸念される日々ではありますが、子どもたちにはこれまでの学習の成果を試すべく、全力を尽くしてほしいと願っています。

さて、2月10日(金)に感染症対策についての政府方針が示されたところですが、換気的重要性については引き続き謳われているところです。

このことと軌を一にして2月13日(月)の生徒集会にて、生徒会保健員会による発表がありました。取組は名付けて「10・10・3(テン・テン・スリー)換気大作戦」です。この言葉の響きに心当たりがある方もいるかもしれません。そう、有名歌手の曲をある携帯電話会社が替え歌としてCM放送しているフレーズを、保健委員会がアレンジしたものです。

「10・10・3 (テン・テン・スリー)」とは、それぞれ10cm、10cm以上、3分間という数値を表しています。授業中は、南側(外側)の窓を10cm、廊下側(校舎内側)の窓を10cm、欄間を10cm以上開けて「常時換気」を行い、更に休み時間は廊下側(校舎内側)の窓を全開にし、3分間「リセット換気」を行うという取組に起因しているものです。



【保健委員会による発表】

ところで、次の考え方をお聞きになったことはあるでしょうか。

「小さく入れて、大きく出す」

これは、教室の窓をすべて全開にして換気するよりも、外気が入ってくる側の窓の開ける箇所を少なく、開け方を小さくすると新しい空気(外気)が勢いよく室内入ってくることに、その反対側の窓を大きく開けることで、教室内のよどんだ内気が外に出やすくなり、換気効率が高まるという考え方のことです。

このことは、諸々の研究データや本校の学校薬剤師及び養護教諭が、窓の開け方(開ける窓の数、開け幅)を様々に変えながら何度も二酸化炭素濃度を測定し、最適な換気方法として結論付け、本日子どもたちに示したものです。

さて、3年生の香川県公立高等学校一般選抜まであと3週間となりました。全校を挙げて換気を始めとする感染症対策を継続し、3年生が無事最後の受検と卒業式を迎えられるよう取り組んでまいります。ご家庭でも、引き続きご協力をお願いいたします。

授業中の
常時換気

常時換気 = 10・10・3

- ①南側の窓(両サイド)を10cm開ける。
- ②ろうか側出入口(2か所)を10cm開ける。
- ③ろうか側のらんま(2か所)を10cm以上開ける。



休み時間・給食中・昼休みなどの
リセット換気

リセット換気 = 10・10・3

- ①南側の窓(両サイド)を10cm開ける。
- ②ろうか側らんまを10cm以上開ける。
- ③ろうか側出入口(2か所)を全開にする。
- ④換気時間は3分間以上。

新しい空気を小さく入れて、大きく出す!!

